

2. 駅周辺地域の位置付け

1) 上位計画の方向と駅周辺地区の役割

「富山市総合計画新世紀プラン」(H13)

< 都市像 >

きらりと輝く・人・まち・とやま

< まちづくりの目標 > 5つの目標の1つ

「人びとが集い賑わうまち」

1. 交流拠点都市の形成
2. 都市機能の集積
3. 中心市街地の整備
4. 出会いと交流のまちづくり

「富山市都市マスタープラン」(H11)

< 将来都市像 >

『環日本海雄都・富山』

< 中央地域の将来像 >

『風格のある活気に満ちた県都心』

< 地域の目標 >

- 富山県の発展を先導する活力のある都心の形成
- 拠点を連携する都市軸の強化とネットワークの構築
- 安心して住める快適な都心居住の創造
- 都市河川や緑を取り込んだ潤いのある生態環境の形成

「富山市中心市街地活性化基本計画」(H11)

< 活性化の目標 >

- ◇ 広域都心と生活都心の調和する、賑わいあふれる中心市街地の再生
- ◇ 自然と歴史、伝統に育まれた新たな富山文化の創造

< 活性化のキャッチフレーズ >

“ホット”で“ほっと”するまち 富山

< 中心市街地の将来像 >

1. 広域中心の顔としてふさわしい広域的な都市機能を有する中心市街地
2. 立山の眺望と水と緑を活かした潤いのある中心市街地
3. 人が交流し、賑わいのある中心市街地
4. 人に優しい、安全・快適・便利な中心市街地
5. 富山の歴史と文化を活かした都市型観光に対応する中心市街地

都市機能の配置方針

駅北ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・とやま都市MIRAIに基づき、にぎわいと品格ある新都心を形成する。 ・商業施設、業務施設、文化・スポーツ施設等の公共施設整備を促進し、複合的な都市機能を持った拠点を形成する。
駅南ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・商業、業務、宿泊、サービス、娯楽等の都市機能の集積を促進するとともに、北陸新幹線の開通をにらみ、富山駅周辺地区南北一体化まちづくり事業の推進や、交通関連施設の整備を検討し、広域交通ターミナル機能の強化を図る。

中心市街地の将来都市構造



駅周辺ゾーン

- ・都心の交通拠点として、駅南北の一体化を図るとともに、商業ビル・ホテル群等の集客を背景に、来街者が楽しく回遊し、滞留できる街としての空間整備を進める。

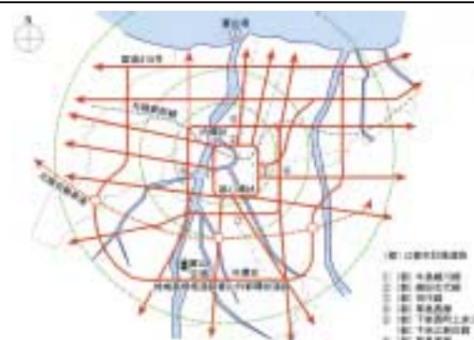
< 都市圏8つの核 >

都市活動の先導性を担い広域拠点性を高めていくため、商業・業務等の中枢性を担う都心部の拡充に加えて、個性ある都市機能集積等を生かした拠点的地区を形成し、**都心地区を核として周囲の地域拠点を連携した多核的な都市圏構造を形成する**



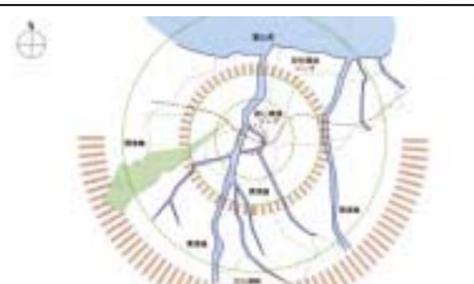
< 放射環状交通体系 >

県内外の主要都市と結ぶ高速交通体系を確立し、都心環状・内環状・外環状の環状道路ネットワークを整備する。**主要駅での路面電車やバス、マイカー等との接続性を高め、鉄道と一体となった公共交通ネットワークを形成する。更に空港と航路も含めた多重的交通手段を確立する。**



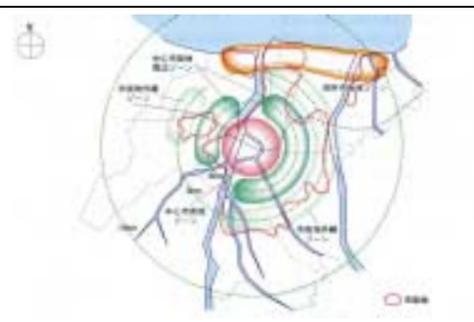
< 水と緑のネットワーク >

雄大な自然を生かした環境を整備していくため、城址公園を核とした都心部と郊外部における2つの環状リングとそれを放射状につなぐ環境軸によって**水と緑のネットワークを形成し、潤いのあるまちづくりを進める。**



< 身近な住環境 >

富山中心5kmゾーンにおいて、地区計画や土地区画整理事業等による良好な住宅環境を整備する。**都心の利便性を生かした都心型住宅を導入し、街並景観整備を積極的に進める。**



都心整備の基本方針と戦略施策

都市再生に向けたまちづくりの必要性和基本シナリオ

都心整備目標

既存都市機能の充実・活性化と新機能の導入により「多様な人々にぎわう魅力あるコンパクトな」まちづくりの推進

- ・ 都心の求心力を発揮する都市構造の育成
- ・ 道路等の既存資源の活用、再構成による都心核間交流と回遊の促進
- ・ 都心居住人口の増加策の推進
- ・ 高齢化、情報化に応じた新たな都市機能の充実
- ・ 都市観光、国際交流機能の充実
- ・ 都市的な魅力、にぎわいを育む場の育成
- ・ 水と緑、歴史資産を生かした都心環境形成

高齢社会と環境問題に対応した「公共交通を大切にした交通体系」のまちづくりの推進

- ・ 通過交通を抑制した自動車利用の適切なコントロール
- ・ 利用者の視点に立った公共交通結節点の再整備
- ・ 公共交通のサービス範囲の拡充、利用利便性の強化
- ・ 歩行、自転車利用が楽しい環境整備
- ・ バリアフリー化の推進

都心整備の基本方針

公共交通を生かしたコンパクトで一体的な都心構造像（イメージ）

環状道路の整備

- ・ 環状道路の整備を進め、都心内への通過交通流入を抑制すると共に都心集散交通の円滑な処理を図る。

4 拠点地区（ゾーン）の特徴づけと機能強化を図る。

3 つの特徴ある都市軸の整備強化を図る。

都市観光・景観軸

- ・ 城址大通り、南北自由通路、プールパールの連携により都市景観や観光・イベント等交流の主軸とする。

路面電車（LRT）回廊軸

- ・ 路面電車を活用し、商業・業務・居住系機能を中心に交通サービス充実により4 拠点の連携強化をはかる。

水辺環境軸

- ・ 松川、いたち川、神通川を連携し、まち歩き、自転車、舟遊び等で富山を体験して楽しむ回遊路を整備する。

整備施策

7 つの戦略施策展開

- 都心4 拠点の都市機能強化と魅力づけ
- 市街地再開発等による都心居住の推進
- 公共による都市基盤整備と連携した民間投資の促進
- 都心環状道路の整備
- 都市軸の機能強化（歩行者・自転車、公共交通利用重視のための形態変更）
- 路面電車の都市M I R A I 地区への延伸
- 鉄道の高架化と土地区画整理（駅周辺地区の南北一体化と土地利用の利用増進計画）

このまま放置した場合、富山市は都市として・・・

- ・ 市全体の人口が減少し、全国でも有数の**高齢者の多い都市**となる
- ・ まちなかの人口が減少し、都心の**空洞化が一層顕著な都市**となる
- ・ 自動車分担率が80%近くに達する**著しく自動車に依存した都市**となる
- ・ まちなかの**回遊性と賑わいが乏しい都市**となる
- ・ 広域都市圏の都市間競争が顕在化している中で**富山らしさが発信できない都市**となる

なぜ今、富山市の都市再生が緊急かつ重要な課題であるのか。

1. 北陸新幹線着工を契機に地域整備の意欲が今、地域全体にみなぎっている。
2. 北陸新幹線の波及効果を地域で最大限に活用するため今、関連する都市再生施策を具体化し実践しなければならない。
3. 経済社会の構造改善が進む中で都市間競争が激しさを増し、富山市が活力ある中核都市として生き残るためには、従来のトレンドを脱し都市づくり新戦略のもと今、舵を切らなければならない。
4. 今後の富山の都市づくりにおいて民間の役割は極めて大きく、民間活力を引き出すため公共側の長期的な都市づくり戦略を公表し、両者の連携体制を早急に築かなければならない。

出典：富山駅周辺南北一体的なまちづくり調査報告書

2) 都心地区整備の基本方向

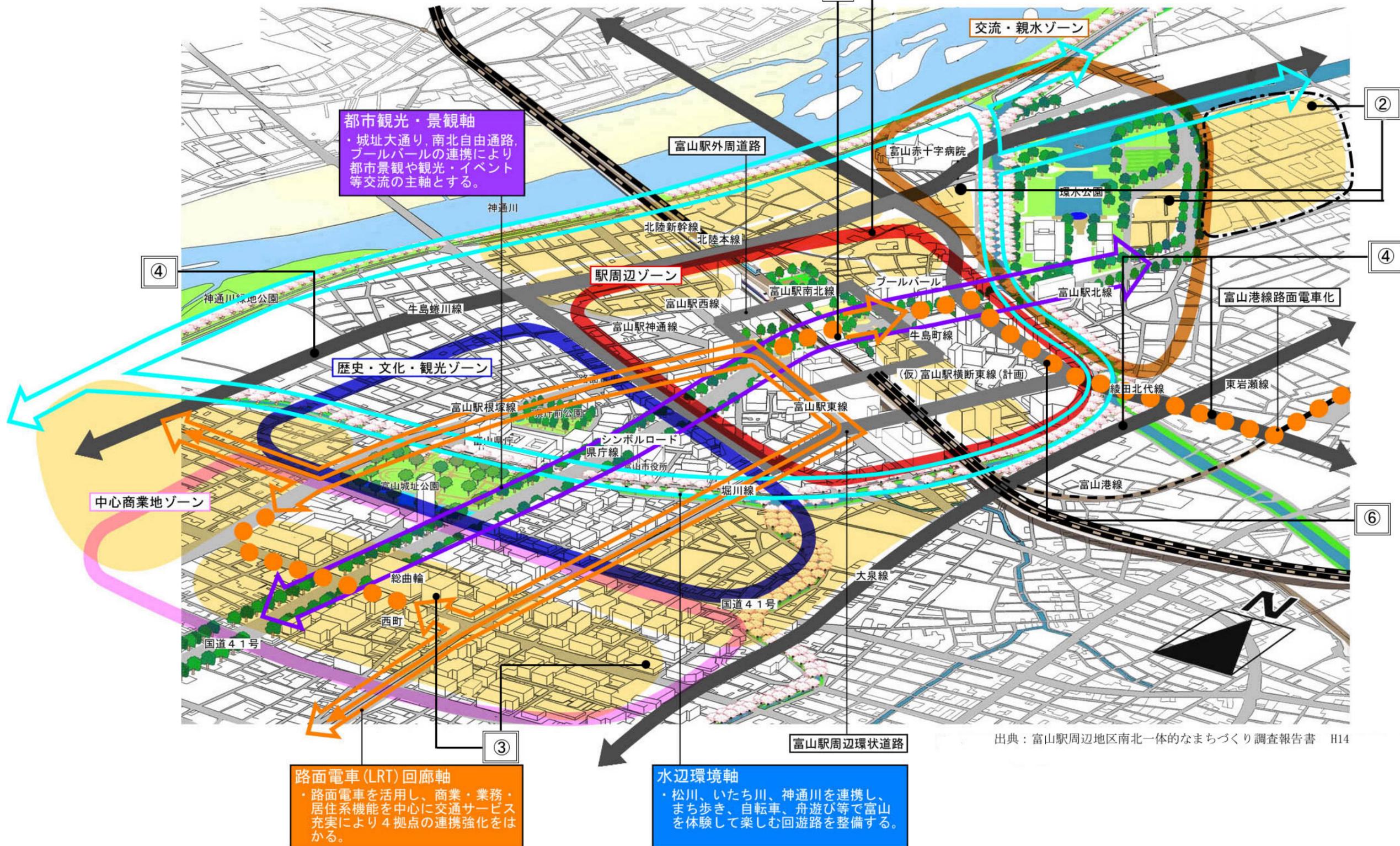
都市再生に向けた都心整備の基本イメージ

平成13年度調査においては、富山市の都市再生に向けた基本的なまちづくりビジョンを示した。

◇7つの戦略施策展開

- ① 都心4拠点の都市機能強化と魅力づけ
- ⑤ 都市軸の機能強化
(歩行者・自転車、公共交通利用重視のための形態変更)
- ② 市街地再開発等による都心居住の推進
- ⑥ 路面電車の都市MIRAI地区への延伸
- ③ 公共による都市基盤整備と連携した民間投資の促進
- ⑦ 鉄道の高架化と土地区画整理
(駅周辺地区の南北一体化と土地利用の利用増進計画)
- ④ 都心環状道路の整備

ゾーン	ゾーンの整備課題	ゾーンの役割区分 (整備目標)	ゾーンの賑わいづくり方針
駅周辺ゾーン	<input type="checkbox"/> 先端情報産業の集積は十分でない <input type="checkbox"/> 西地区は木造低密住居地区となっている <input type="checkbox"/> 駅近隣の住居機能集積が十分でない <input type="checkbox"/> プールパルや文化施設が十分活用されていない <input type="checkbox"/> 公共交通のサービスが十分でない <input type="checkbox"/> 駅南地区との間に距離感、分断感が強い <input type="checkbox"/> 賑わい、交流機能集積が少ない	先端的複合都市機能拠点 (働、住、学)	<input type="checkbox"/> 先端的業務・情報企業、国際交流機関の立地推進と支援教育機関の立地 <input type="checkbox"/> 至便な交通環境、良好な住環境を生かした居住機能の強化 <input type="checkbox"/> プールパル、文化施設の活用 <input type="checkbox"/> 公共交通サービスの強化 <input type="checkbox"/> 駅南地区との連携(回遊)強化
	<input type="checkbox"/> 都市観光施設の集積が進んでいない <input type="checkbox"/> 商業機能に一体感が感じられない	広域の賑わい交流拠点 富山のショーウィンドウ拠点 (働、楽)	<input type="checkbox"/> 多様な人々が集い24時間賑わう施設の立地誘導と強化 <input type="checkbox"/> 都市観光拠点の形成 <input type="checkbox"/> 鉄道空間を含めた商業機能の集積 <input type="checkbox"/> 駅前広場、自由通路を介した駅南北と中心市街地との連絡強化



出典：富山駅周辺地区南北一体的なまちづくり調査報告書 H14